

平成 20 年度
(2008 年度)

発 言 要 旨

1 当初予算の規模

平成20年度高崎市の一般会計予算は1,333億1,000万円、前年度比8.4%の増で、一般会計、特別会計、企業会計を合算した予算総額は、2,222億5,836万8千円で、前年度比2.1%の減となります。

また、国の予算は前年度比0.2%の増にとどまり、地方公共団体の予算編成の指針となる地方財政計画も、国と同様に厳しい財政環境を反映し前年度比0.3%の増となっております。

2 予算編成の基本方針

景気はアメリカ経済の後退や原油高騰などの影響から、先行き不透明な状況にあり、地方財政においても依然として厳しい状況が続いております。

こうした中、平成20年度の予算編成にあたっては、市民の視点に立ち事業の優先度や緊急度を考慮し、平成20年度から新たにスタートする第5次総合計画の将来都市像である「交流と創造～輝く高崎」の建設に向けた施策や事業を最優先として取り組みました。

市民一人ひとりが安心・安全に暮らしていけることを最大の目標とし、高崎市の持つ拠点性と存在感をより一層高めながら、魅力ある都市づくりを推進していきたいと考えております。

3 一般会計予算の概要

はじめに歳入の概要を説明します。

市税については、市民税個人が個人所得の伸び悩みからほぼ前年度と同額を見込み、法人は平成19年度の収入状況をふまえ、前年度比14.0%の増、市税総額では557億5,101万2千円で前年度比3.5%の増で見込みました。

地方交付税のうち普通交付税は、6億円減の60億円、特別交付税を16億円計上しました。

繰入金は、財政調整基金から48億円、減債基金から10億円、退職手当基金から6億円を繰入れます。

市債は高崎駅東口周辺整備事業や義務教育施設建設等の大型事業が集中したため、54.8%増の140億3,790万円を計上しました。

次に歳出の主要な事業等を第5次総合計画の政策分野に沿って説明します。

『健康・福祉』

安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、乳幼児等への医療費助成について、対象者を外来は小学3年生まで、入院を中学3年生までに拡充します。また、妊婦健康診査の助成回数を4回から5回に拡大し、新たに不妊治療の治療費負担軽

減のための助成を行います。

その他、箕郷第一保育園の改築、放課後児童クラブ施設整備、地域医療支援センター（仮称）の整備、医療保健センター（仮称）の整備推進を図ります。

『教育・文化』

全小・中学校及び園に1名～2名の学校支援員を配置し、学校教育支援の強化を図ります。

学校の施設整備では、堤ヶ岡小学校の分離新設校、新町第一小学校の校舎、倉淵中学校・箕郷中学校の屋内運動場等の建設を行うほか、自校方式給食の拡充に取り組みます。

耐震補強事業では、校舎の耐震診断、補強工事を順次実施します。

史跡の保存整備では、日高遺跡、山名古墳群、箕輪城跡、北谷遺跡、保渡田古墳群等の保存整備を進めます。

その他、北公民館、新図書館、群馬地域野球場（仮称）、高崎経済大学新教室棟の建設工事を実施します。

芸術文化事業は、各地域の文化施設等において企画文化事業や企画展を開催するほか、施設整備面では、文化会館の舞台・照明設備等の全面改修を行い、平成19年度に着工した美術館収蔵庫が完成します。

『環境・安全』

インターネットや携帯電話等のメール機能を利用した災害情報や防犯情報等の配信を開始します。

給食残渣の堆肥化やごみ減量化を図るとともに、「全国都市緑化ぐんまフェア」の開催や、カップピア跡地、三ツ寺公園の整備を推進します。

地域防災対策として、六郷コミュニティ消防センター建設及び堤ヶ岡小学校分離新設校へ耐震性貯水槽を設置します。また、自動体外式除細動器を全小・中学校・公民館等に設置します。

『産業・観光』

中心市街地活性化対策として、今年度策定中の中心市街地活性化基本計画に沿って各種施策の推進に努めます。

中小企業支援については、支援拠点の産業創造館を中心に、産学連携や新産業・新技術の創出など総合的な支援を図ります。

観光については、新市が一体となった観光を推進するため高崎市観光振興計画の策定、各地域の祭りの継続実施、みさと芝桜公園ライトアップ工事、榛名湖や榛名神社などの観光資源の複合的な活用等観光の振興を図ります。

農林業については、集落営農の推進や果樹・野菜等の産地育成、畜産振興の支援、フルーツラインをはじめとする農道・林道整備などを行います。

『都市・建設』

高崎駅東口ペDESTリアンデッキの整備及び駅舎改修とともにスマートインターチェンジの整備促進を図ります。また、東口第八地区に続き27番目の再開発事業として西口第四地区の整備を推進します。

区画整理事業、街路事業等についても、継続して事業推進に努めます。

市内循環バス「ぐるりん」については、ノンステップバスを2台購入して利便性の向上を図るほか、路線再編に向けて調査を行います。

その他、山名団地、新町団地の建替え、倉淵ふるさと住宅建設を行うとともに、上水道の管網整備、施設改良事業、下水・雨水の管渠整備や城南雨水滞水池建設事業を引き続き実施します。

『地域・自治』

平成23年4月の中核市移行に向けて準備を進めるとともに、住民記録や税などの電算業務を大型汎用コンピューターからサーバーシステムへの移行を進めるなど、引き続き電子自治体の構築を推進します。

4 主な事業

平成20年度の予算概要や主要な事業については、別冊「平成20年度当初予算の概要及び主要事業」をご覧ください。

『安全・安心なまちづくりの推進』

- 拡 1 乳幼児・児童への医療費助成の拡充 (1,017,711千円)
 外来・・・就学前まで 小学3年生まで
 入院・・・就学前まで 中学3年生まで
- 2 地域医療支援センター(仮称)建設 (1,463,629千円)
 国立病院機構高崎病院の建替えにあわせ地域医療支援センター(仮称)を整備
 総事業費2,899,557千円 平成21年度完成予定
- 3 医療保健センター(仮称)建設事業 (932,561千円)
 保健センター、保健所、休日準夜診療所等の機能を備えた複合施設を新図書館とあ
 わせて整備
 総事業費(図書館含む)10,172,203千円 平成23年4月開館予定
- 拡 4 妊婦健康診査の充実 (112,319千円)
 無料妊婦健康診査 4回 5回
- 新 5 不妊治療費助成 (13,500千円)
 不妊治療費の経済負担の軽減により少子化対策を推進
 一般不妊治療を対象、自己負担額の1/2、上限年5万円
- 新 6 耐震性貯水槽設置 (55,500千円)
 堤ヶ岡小分離新設校地内へ設置 40m³ 1基
- 拡 7 自動体外式除細動器(AED)の設置 (42,315千円)
 小・中学校、公民館等へ 155台設置

『教育環境整備等』

- 新 8 自校方式給食拡充事業 (7,822千円)
 高崎市全域に順次自校方式の給食を拡大
- 9 義務教育施設の整備 (3,965,832千円)
 ・堤ヶ岡小学校分離新設 (1,770,943千円)
 ・新町第一小学校校舎等建設 (946,115千円)
 ・倉渕中・箕郷中屋内運動場建設 (851,017千円)
- 新 10 新図書館建設 (730,116千円)
 医療保健センター(仮称)とあわせて整備
- 新 11 群馬地域野球場(仮称)建設 (475,020千円)

『都市環境整備等』

- 新 12 **スマートIC整備事業**（15,909千円）
交通結節点機能の向上を図るスマートICの整備
- 拡 13 **高崎駅東口周辺整備事業**（1,890,353千円）
総事業費2,903,220千円
・高崎駅東口駅舎改修（1,183,415千円）
事業年度 平成18年度～20年度
・高崎駅東口ペDESTリアンデッキ整備（706,938千円）
事業年度 平成18年度～20年度
- 14 **市街地再開発事業**（110,000千円）
26番目の再開発 高崎駅東口第八地区（東町）50,000千円
事業年度 平成19年度～21年度
- 新 27番目の再開発 高崎駅西口第四地区（八島町）60,000千円
事業年度 平成20年度～22年度
- 15 **全国都市緑化フェア推進事業**（422,116千円）
- 新 16 **観音山公園整備**（161,550千円）
カッパピア跡地の活用整備
- 拡 17 **みさと芝桜公園運営・整備**（61,432千円）
ライトアップ工事 12,800千円
平成21年度の芝桜まつりからライトアップ
- 新 18 **倉淵ふるさと住宅建設**（192,071千円）
若者や子育て世代等の定住促進 戸建型住宅6戸の整備
- 19 **美術館収蔵庫建設**（365,766千円）
鉄筋コンクリート造6階建 1,027.18m² 総事業費408,656千円
- 新 20 **中核市推進事業**（923千円）
平成23年4月1日の中核市移行準備